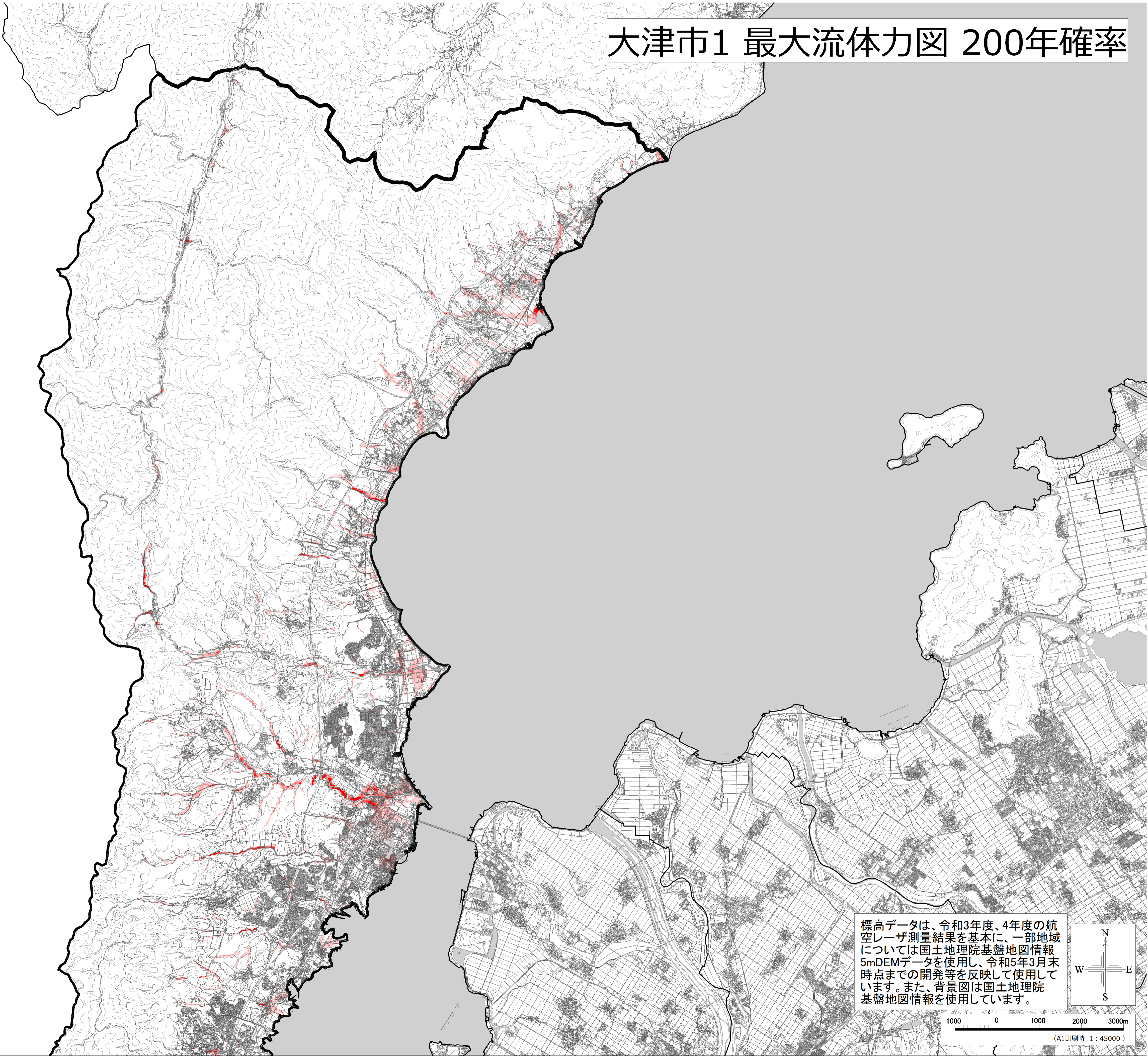


# 大津市1 最大流体力図 200年確率

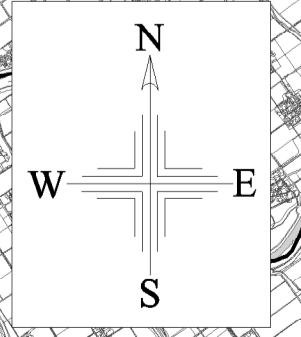
最大流体力

- 0.5m<sup>3</sup>/s<sup>2</sup> 未満
- 0.5m<sup>3</sup>/s<sup>2</sup> - 1.0m<sup>3</sup>/s<sup>2</sup> 未満
- 1.0m<sup>3</sup>/s<sup>2</sup> - 1.5m<sup>3</sup>/s<sup>2</sup> 未満
- 1.5m<sup>3</sup>/s<sup>2</sup> - 2.0m<sup>3</sup>/s<sup>2</sup> 未満
- 2.0m<sup>3</sup>/s<sup>2</sup> - 2.5m<sup>3</sup>/s<sup>2</sup> 未満
- 2.5m<sup>3</sup>/s<sup>2</sup> 以上

—— 市町界



標高データは、令和3年度、4年度の航空レーザー測量結果を基本に、一部地域については国土地理院基盤地図情報5mDEMデータを使用し、令和5年3月末時点までの開発等を反映して使用しています。また、背景図は国土地理院基盤地図情報を使用しています。



1000 0 1000 2000 3000m  
(A1印刷時 1:45000)

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院の基盤地図情報を使用した。(測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R7Jhs943)